

学校だより

特別号



それゆけ三中

教育目標：より確かに・より豊かに・より遅しく

令和4年 2月17日

足利市立第三中学校

生徒数：190名

発行者：高木 秀和



◇学校評価(生徒、保護者)の集計結果より



学校・家庭・地域の連携した教育活動の向上を推進するため、1月～2月に『本校の教育活動に関する保護者アンケート』、『学校生活における生徒アンケート』を実施しました。この度、そのアンケート結果がまとまりましたので報告させていただきます。学校として昨年度と比較し、数値が上がった、下がったと単純に捉えるのではなく、さらに分析を深め、それぞれの傾向を真摯に捉え、改善に向けて具体的に考えていきます。生徒回収率94%、保護者回収率95%でした。

※表中の数値は、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した生徒、保護者の割合(%)小数点第一位は四捨五入しています。

家庭との連携

今後も、学校の様子を分かりやすく「たより」等を通して、また各学年で学校を離れて行う行事では、メール配信により現地の様子等をお知らせしていきます。また、本校のブログを更新し、保護者に情報が伝わるよう心がけていきます。

	質 問 項 目	R2	R3
保護者	◆学校だよりや保健だより等で、学校の情報や考えがわかる。	97	92
	◆学校から送られてくる通知は、丁寧に読んでいる。	84	82



家庭生活

昨年度に続き、コロナ禍による新しい生活様式において、家庭で過ごす時間が多かった1年でした。時間の使い方や、生活の節度等について、「考えて行う」習慣が定着するよう、今後も折りに触れて指導・支援していきたいと思います。

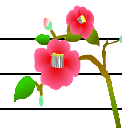
保護者	◆子どもが「早寝、早起き、朝ごはん」を守るよう家族で心がけている。	88	87
	◆「いじめ問題」を意識して、生命を尊重する心、人権を大切にする心や交通ルールを守ることを日頃から指導している。	95	96
	◆子どもと話す時間をとり、学校生活や友達のことを知るように努めている。	93	94
	◆授業参観やPTA活動に積極的に参加している。	78	78

学校生活の満足度について

学校は、子どもたちにちとって「今日も学校へ来てよかった」と生徒が思えるところでなくてはならないと思っています。

また、保護者の皆様にとっては、子どもが元気に通うことができ、安心していただける場でなければならないと思っています。そのためには、今年度一人一人の生徒に配慮し、きめ細かな学年・学級経営を行ってきました。今後も子どもたちの変化に気づき、家庭と協力しながら、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。さらに、子どもたちが取組や活動に達成感・満足感のある充実した学校生活を送るために、今後も学校として、「認めて・ほめて」伸ばす指導を心がけ、子どもたちに対して温かさの中にも厳しさがある指導を心がけてまいります。次年度に向けては、保護者皆様、より学校に相談しやすい雰囲気醸成に努めるため、学校公開の機会を検討する等、具体策をもって努力していきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

	質 問 項 目	R2	R3
生徒	◇毎日学校へ来るのが楽しみである。	82	86
	◇学級の中で、私は大切にされている。私にはよい友だちがいる。	93	90
	◇先生方は、私のことを気にかけ、声をかけてくれる。	90	93
	◇学級・学年・学校行事に一生懸命頑張った。	97	96
	◇部活動(クラブチームも)を一生懸命やった。	99	98
保護者	◆学校は子どもの安全確保のために努力している。	95	92
	◆学校は子どもの様子をつかみ、生徒や保護者との連絡・相談等に努めている。	90	82
	◆学校はどんなことでも話しやすい雰囲気である。	87	79
	◆子どもは、明るく元気に学校(学級)生活を送っている。	93	86



学習について

今、求められている学力は「何を知っているのか」という知識の量だけではなく、「自分の知っていることを使って、何ができるのか」「どのように問題を解決することができるのか」という、実生活や社会において知識や技能を活用して課題を解決する力です。本校では、学力の向上をめざし、各教科の授業の中で「本時のめあて」を黒板に書き示し「この時間に身につけなければならない」を子どもたちに示してきました。各教師の授業を分析し、子どもたちが『できた』『わかった』と実感できる授業研究を全教職員で進めています。子どもたちには、授業の中でペアやグループ学習で、意見を出し合う時に「良い聴き手」になってほしいと思います。そうしたことにより、安心感が生まれ失敗を恐れず、自分の意見が発表できる子どもたちを増やしていきたいと思っています。

また、タブレット等のICTを適切な場面で有効活用し、学習効果の向上が図れるよう今後も研究を進め、子どもたちの学力向上に努めていきたいと思っています。

家庭学習については、学習を習慣化させていくために、自主学習ノートを奨励し、これまでにベストノート賞やテクニカルノート賞を表彰してきました。家庭学習の時間が増えてきていて、子どもたちの学ぶ意欲にもつながってきています。令和4年4月には「学習の手引き」を引き続き配布いたします。家庭においては、引き続き家族で認め合い、励まされることで「頑張ってたかった」という充足感や「見守られている」という安心感を作っていただき、子どもたちに自分らしさや努力することに自信を持たせていただければと思います。

	質 問 項 目	R2	R3
生徒	◇チャイム着席など時間を意識して行動したり、決められた髪型や、服装で過ごすことができた。	96	94
	◇めあてを意識して意欲的に授業に取り組むことができた。	89	93
	◇授業では、話し合い活動などの学び合いに積極的に参加し、楽しくできた。	90	89
	◇本時の授業で「何が学べたか、何がわかったか」ふり返りをきちんと行えた。	82	91
	◇道徳や学級活動の時間では、自分や学級、学校がどうしたらよりよくなるか一生懸命に考えた。	88	93
	◇総合的な学習の時間では、自分の考えをまとめたり自分らしさを発揮し進んで学習した。	86	92
	◇家庭学習の時間 ① 2時間以上 ② 1時間～30分未満	60 40	55 45
保護者	◆子どもにとってわかりやすい授業が行われている。(丁寧、個に応じた)	89	81
	◆子どもは、「授業の約束3項目」を守り、授業に臨んでいる。	75	70
	◆子どもは、家庭学習に熱心に取り組んでいる。	68	64
	◆校舎内外は、落ち着いて学習しやすい環境である。(清掃、緑化、掲示)	97	92

生活について

「一日のスタートは、さわやかなあいさつから」です。地域の方々や来校する業者の方々から、子どもたちの「挨拶がすばらしいね」とお褒めの言葉をいただいております。そして、そのお褒めの言葉を機会を捉えて子どもたちに伝えることで、「認められた」、「もっとがんばろう」等、自身の行動のよさを振り返り、「あいさつをしっかりとしよう」という意識の向上に繋げることができました。今後も子どもたちとともに、さわやかで活気のある「チーム三中」を地域に発信していきたいと思っています。

子どもたちには、帰りの学活を利用して一日の自分の生活を振り返り、明日への目標をもたせたいと思います。教育学者：森信三先生の提唱した「時を守り、場を清め、礼を正す」姿を教職員が子どもたちに範を示していきたいと思っています。

	質 問 項 目	R2	R3
生徒	◇友だちと付き合っていく中で、言葉づかいや行動などに気を付けた。	95	95
	◇自分から進んで元気よくあいさつができた。	88	94
	◇場に応じた適切な言葉づかいができた。	93	98
	◇「生活のあゆみ」を使って、自分の生活を振り返っている。	84	83
	◇一生懸命、清掃や当番活動、係の仕事に取り組んだ。	100	97
保護者	◆子どもは、正しい言葉遣いや挨拶がしっかりできる。	87	86
	◆子どもは、基本的生活習慣が身についている。 (時間を守る、規則正しい生活を送る)	75	74

保護者の皆様から多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。

子どもたちへの思い、学校に対する願いを真摯に受け止め、今後の学校経営に活かしていきたいと思っています。

